



たび重なる東京電力の事故隠しに激怒した佐藤栄佐久さん(元福島県知事)は東京(権力)への不信を表明し、地方主権を唱えて「闘う知事」となり、そして2006年、収賄罪の容疑で逮捕された。認定された収賄額は0円。福島県民の安全と自然を守ろうとした知事は何故「抹殺」されたのか?

(安孫子 亘監督)



フォーラム那須塩原で上映されます

6月24日(土)～6月30日(金)まで

毎日 二回上映 11:50～ 18:50～

- | | |
|----------|---|
| 6月24日(土) | 11:50の回の終了後、舞台挨拶
元福島県知事 佐藤栄佐久 and 安孫子亘監督 |
| | 18:50の回の終了後、舞台挨拶 安孫子亘監督 |
| 6月25日(日) | 11:50の回/18:50の回の終了後、舞台挨拶 安孫子亘監督 |
| 6月27日(火) | 11:50の回の終了後 トーク&ミニライブ
安孫子亘監督 and 佐藤孝雄
(エンディング曲作詞・作曲者) |

フォーラム那須塩原(0287-60-7227)

一般の方もシニアの方も前売り券(1000円)がお得です。

当日券	一般 1800円	学生 1500円
高校生以下	1000円	シニア(60才以上) 1100円

映画の制作を決意し、初めて佐藤栄佐久氏にお会いした。罪を犯す人ではないことは、すぐにわかった。未だ冷めることのない栄佐久氏の国造りへの情熱が、大量の資料と共にマシンガンのように私に浴びせられた。

(「知事抹殺」HPより)

【前売り券を取り扱っている所】 黒田原・金子書店(☎ 72-0128) 黒磯・ギャラリーバーン(☎ 64-2288)
他の取扱店はHP (<https://kenpou4heiwa.jimdo.com/>) 「映画サークル十人十色」で検索) でご覧下さい
「平和と憲法を守る! 栃木県北市民ネット」映画サークル十人十色は「『知事抹殺』の真実」上映を応援しています。
【お問い合わせ】 那須町 今岡 090-8174-7257 黒磯 飯田 090-7461-1270 大田原市 石井 090-7301-1704

- 水色の枠線……切れてはいけない要素(文字やロゴ等)をいれる範囲
- ピンクの枠線…仕上がりのサイズ
- みどりの枠線…フチなし印刷にする場合、背景を伸ばす範囲

★★★ PDFに変換して入稿される場合 ★★★

「ヘッダーフッター」画面(カーソルが矢印になる上下の余白の範囲でダブルクリック)より色つきのガイド線を消してから変換してください

チラシ・フライヤーテンプレート
A4 (210mm × 297mm)

ドキュメンタリー映画「知事抹殺」の真実

2006年福島県知事、佐藤栄佐久に突然科せられた謎の収賄事件の真実を描いた作品。就任以来、5期18年一貫して原発に問題提起をし続け、突然の収賄容疑で逮捕され「抹殺」された。結果的に「3.11フクシマの悲劇」が起こり佐藤栄佐久の「予言」が的中してしまった。被災者は言う「あと1期でも続けてくれたら、このフクシマの悲劇は無かったかも知れない・・・」

佐藤栄佐久は、なぜ逮捕されたのか。捜査方法、メディア報道の信ぴょう性、収賄額0円の異例判決。可能な限りの記録と様々な重要証言を元に構成。原発に近づくものは消えていく。この恐ろしい今の日本の現状を明らかにした作品。

何故この映画の上映を応援するのでしょうか？

3.11から6年、福島に戻った人にも戻らない人にも「昔の生活」はもうありません。昨年10月現在でも、避難している子ども（18才未満）の数は2万人を越えています。

東京電力福島第一原子力発電所が事故を起こしたとき、解説者としてテレビに出ていた学者の方々は「これほどの地震でも原発は大丈夫だった」「メルトダウンではない」と言っていました。ところが水素爆発を起こしてからは「1000年に一度の天災」という言説がはびこり、天災だから誰にも責任はないというようになりました。東京電力がメルトダウンを認めたのは事故後2ヶ月も経ってからです。

今、再稼働すれば電気料金が安くなると宣伝している電力会社があります。福島で事故でどれほど多くの人が

故郷を失い、生活を失い、家族もばらばらになったのか、また事故処理費用に国民のお金がどれだけ使われているのかを考えれば、『安くなる』などとは言えないはずです。

この国の政府や財界は都合の良いときに都合の良い言い回しをするだけで、決してその責任を取りません。佐藤栄佐久さんは「自分が逮捕されることはない」と思っていたようですが、現職知事が逮捕されると県政に重大な影響が出ると考え、辞職しました。取り調べの時に検事が口にした「知事は日本にとってよろしくない。いずれは抹殺する」という言葉がこの映画のタイトルになっています。「恐ろしい」現実ですが、これが今の社会の現状なのです。



安孫子亘さんの最近の作品

- | | |
|-----|--|
| 11年 | ドキュメンタリー映画初監督作品 檜枝岐歌舞伎「やるべえや」
山形国際ドキュメンタリー映画祭 2011 コミュニティシネマ賞受賞 |
| 13年 | ドキュメンタリー映画「生きてこそ」～会津の語り最後の伝承者山田登志美 |
| 15年 | ドキュメンタリー映画「春よこい」～熊と蜜蜂とアキオさん～ |

『平和と憲法を守る！栃木県北市民ネット』の紹介

今年1月に設立しました。「政治や経済、その他のあらゆる分野で民主主義と平和憲法を生かす社会の実現を目指し、それぞれが個人の立場を尊重しつつ、市民が手をつないで新しい草の根の運動を立ち上げましょう」というのが設立の趣旨です。どなたでも参加出来ますし、会費もありません。関心のある方は

飯田 090-7461-1270 にお問い合わせください。



- 水色の枠線……切れてはいけない要素（文字やロゴ等）をいれる範囲
- ピンクの枠線…仕上がりのサイズ
- みどりの枠線…フチなし印刷にする場合、背景を伸ばす範囲

★★★ PDFに変換して入稿される場合 ★★★

「ヘッダーフッター」画面（カーソルが矢印になる上下の余白の範囲でダブルクリック）より色つきのガイド線を消してから変換してください